

秋出しストックの栽培

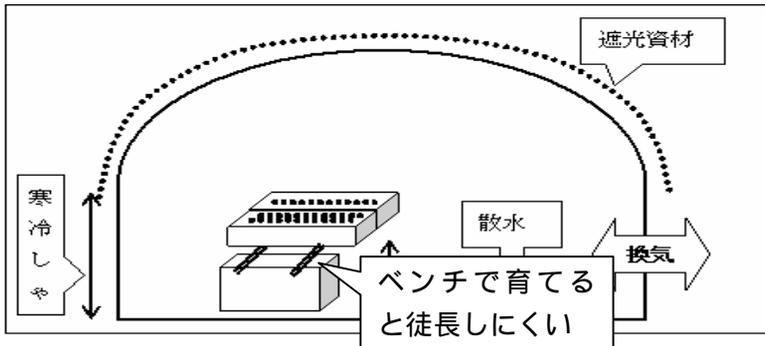
| | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--|---|---|---|----|----|----|---|---|---|--|---|---|
| | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 品種 雪波・朝波 風の舞 アイソシリーズ <スプレイ> カテットシリーズ | | |
| | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | | 中 | 下 |
| 春出し栽培 | 8/1 22日 8/23----- 8/10 22日 9/1----- 注) : 播種 : 定植 : 開花 *** 5 保温・加温-----収穫終了まで | | | | | | | | | | | | |

栽培のポイント

- ・ストックは八重と一重が混ざっており、おおむね半分が八重。
- ・通常は八重が好まれるため、育苗中に八重鑑別を行い、八重株を残して定植する。
- ・コナガがつきやすいので防除を徹底する。
- ・冬季間の菌核病、灰色かび病など病害の発生予防。
- ・最低温度5 と日中20 以下の確保。

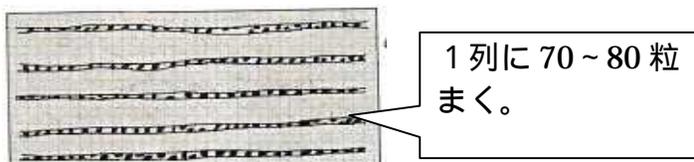


1 育苗



<は種>

- ・用土は水はけが良いものを用いる。市販の育苗用土にパーミキュライト等を混ぜても良い。
- ・は種床を均一にならしては種する。覆土は5mm 前後。
- ・八重鑑別で 1/4 程度に間引くので多めには種する。



<温度管理>

発芽適温：20～25 (暑いと発芽不良)
 発芽日数：3日
 ハウス換気の徹底：通風良くして涼しく管理
 遮光：は種後10日程度。温度低下、乾燥防止のため

<水管理>

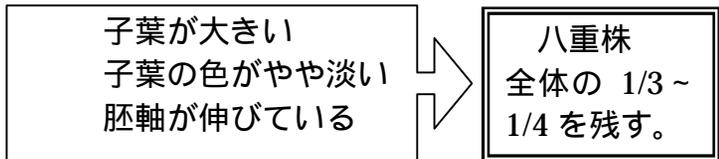
- ・は種～発芽：乾かさないようにかん水。
- ・子葉展開～定植：晴天時は1日1～2回かん水。夕方には地表面が乾く程度。条間にかん水する。

<育苗時の追肥>

葉色が淡い場合、八重鑑別後に液肥で追肥。
 (例：液肥2号 1000倍 (N-100ppm))

2 八重鑑別

- <1回目> 予備鑑別
発芽揃い頃、発芽が遅れたものを間引く。
- <2回目> 本鑑別
は種12～14日後。本葉が見え始める頃。



少し徒長したような苗

3 定植

- ・栽植密度 条間15cm×株間13cm、6～8条植え。



- ・できるだけ根をつけて、根を丸め込まないように定植。
- ・定植後十分にかん水し、活着まではかん水を控える。しおれるようなら朝晩の涼しい時間に軽く散水する。
- ・活着したら遮光は夕方にはずす。
- ・活着後は十分にかん水する。 施肥例(100坪あたり)

| | | |
|----|-----------|-----------|
| 基肥 | 堆肥 | 500～700kg |
| | MMB 複合燐加安 | 30kg |
| | BM ようりん | 10kg |
| | 苦土石灰 | 20kg |
| 追肥 | 有機&Iト | 10～20kg |

4 定植後の管理

<追肥>

定植2～3週間後ころ10坪あたり1～2kg 追肥し、条間を軽く中耕する。

<マルチの設置>

15cm×15cmのネットを設置する。(定植時でも良い)

<水管理>

- ・活着～発らい前：十分にかん水し、草丈確保。
- ・水切り：発らいを始めたらかん水は中止し、乾かす。冬季間乾きすぎると晴れた日に軽くかん水する

<温度管理> 最低温度の管理目標：3～5

外気温が11月下旬から保温を開始する。
 カーテン・トンネルを用いて凍らないように保温する。
 凍らないようなら換気を十分に行う。

<その他>

スプレイの品種は頂花を摘心する。

5 病虫害防除

コナガ、ハモグリバエなどに注意。

